

第57回アブダクション研究会開催のご案内

アブダクション研究会
世話人 福永 征夫
TEL & FAX 0774-65-5382
E-mail jrfd117@ybb.ne.jp

第57回アブダクション研究会の開催について、下記の通りご案内を申し上げます。

(1) 前回は、『レイチェル・カーソン「沈黙の春」とアブダクション』というテーマで、大河原敏男氏に研究発表をしていただきました。ご発表は2部構成で、その1は、レイチェル・カーソン「沈黙の春」の内容の説明。

その1、の要点は、『①人間は、主として昆虫による病気や健康に対する被害と食料生産に対する被害に対処するために、1940年代から、DDTはじめ有機系の殺虫剤を大規模に使用した結果、生態系を著しく破壊してしまった。また、自然や生態系、生物体内に蓄積され、貯留された薬剤によって、終わりのない生存の危機に曝されている。②動物の細胞内のミトコンドリアが担うグルコースの酸化過程を阻害して、正常な呼吸によるエネルギーの生成を妨げ、細胞のガン化をもたらすと考えられる害悪の可能性は、とくに深刻である。③われわれ人間は、いまや、化学薬品ではなく、ほかの防除方法を目指さなければならない。化学的コントロールではなく、生物の種の間でのチェック・&・バランスを活かした生物学的コントロールこそ、暴力をふるうのではなく、細心の注意をもって自然のいとなみを望ましい方向に導くことこそ、私たちの目的でなければならない。』というものである。

その2は、発表者による『環境修復・温暖化対策への提言』。その2、の要点は、『人間の省資源・省エネルギーの営みと営みとの間に、自然や生態系と人間の営みとの間に、融合の構造、つまり、自己完結的な、定常の振動状態、を実現して、人間の営みの総量が、環境の収容力線を突破しないように、きめこまかな、フィードバックシステムを導入し、事前的なコントロールに徹していかなければならない。』というものである。その1、その2、ともに、ご発表は、用意周到に準備され、自然に対する長い観察のご経験と、論稿の集約へのご努力が、見事に結実した、説得力のあるもので、多くの皆様に感銘を与えるものだったと思います。

(2) そして、新たな分科会として、『自然・生態系・人間の営みとアブダクション分科会』の設立が決定され、大河原敏男氏が、委員長を担当されることとなりました。

(3) また、新たなメンバーとして、飯塚国際特許事務所の弁理士飯塚道夫氏が、参加されました。アブダクション研究会の益々の進展のために、未永く、ご指導を賜り、ご活躍を頂きますよう、心より、お願いを申し上げます。

(4) さらに、グループメールの導入に続いて、アブダクション研究会の情報の発信体制の拡充を図るため、08・7・20を目途に、ホームページを新設することが決定され、尾上彰プロジェクト長をリーダーに、早急に協力体制を整備することになりました。

(5) ところで、下記にご案内をいたします、9月8日のテーマですが、杉山光裕氏ほか、によ

る「量子制御と量子コンピューターに関するお話」を予定して、調整してきましたが、関係者のご都合によって、日程が整わず、やむなく、このテーマは、08年の年初に順延することといたします。急な予告の変更を、心からお詫びを申し上げます。何卒ご了承をいただきますようお願いを申し上げます。

(6) ちょうど、この6月から東京大学に『知の構造化センター』が設立され、現代社会の”知の爆発的増加”に対処する方法論を模索する動きが始まっており、世間の注視を集めています。『知の構造化』というオントロジーは、アブダクション研究会が本職とすべき、重要な概念であり、方法論でもありますので、9月8日の研究会は、世話人の能力と知見の範囲で、最大限のお話を申し上げる場にする、とともに、それに関する意見交換を行いたいと存じます。羊頭狗肉に陥らぬよう、努力をし、時宜を得た有意な会合にして、ご期待を裏切らぬようにいたす所存ですので、万障お繰り合わせをいただきまして、本年に入ってから新しい会員の皆様をはじめ、可能な限り、多数の皆様のご来場をご期待申し上げ、お待ちをいたしております。

既存の領域的な知をベースにして、新たな領域的な知を探索し、それらを広域的な知に組み換えて、より高次の領域的な知を仮説設定的に発見することを目標に、アブダクション研究の飛躍を期して参りますので、各界、各分野の皆様のご積極的なご参加をお願いします。

記

◇ 日 時： 2007年9月8日(土) 13:00~17:00(例会)
17:20~19:20(懇親会)

◇ 場 所： 日本電気厚生年金基金会館 『2F・大』会議室 (中山氏のお名前で申し込み)
東京都 世田谷区 代沢5丁目33-12 電話:03-3413-0111(代)
* 小田急線/京王・井の頭線 下北沢駅 下車 徒歩約8分
* 会場地図をご希望の方は、事務局・太田までご連絡下さい。なおグループメールメニューのブリーフケースの「NEC 厚生年金会館MAP」でもご覧いただけます。

◇ テーマ： 解説発表 『知の構造化を考える』
アブダクション研究会 世話人 福永征夫

◇ プログラム：

(1) 諸連絡	13:00~13:10
(2) 研究発表	
PART [1]	13:10~14:25
— 休憩(5分) —	
PART [2]	14:30~15:45
— 休憩(5分) —	
(3) 総合的な意見交換	15:50~16:50
(4) その他の連絡事項	16:50~17:00
(5) 懇親会 (楽しく勉強になります。是非積極的にご参加ください)	17:20~19:30

